



i+hubで オフィスみんなが会議を始めやすく

- 企業名** 株式会社アドウィック
業種 ITサービス
利用シーン 社内外会議
企業概要 北海道に根ざした総合ヘルスケア企業グループ「ほくやく・竹山ホールディングス」の一員として、医療関連機関および一般企業向けのシステム開発、運用、保守などを行う。



今回は大通オフィスに勤務する、北岡様にお話を伺いました。

導入前の課題

- » 複数の機器を使用して会議を行っており、準備が面倒だった。
- » 使用者によって設定を変更したり、機器を持ち出したりしてしまうことがあった。
- » 本社以外にもインタラクティブホワイトボードを導入したかったが、コスト面で断念していた。



導入後の変化

- » 個別に機器の電源を入れる必要がなく、すぐに会議を始められるようになった。
- » 難しい操作がなく、 dongle を使用してワンタッチで資料投影。



i+hubの導入経緯

イグアス:i+hubの導入経緯を教えてください。

いままでの会議室ではプロジェクタ、スピーカーマイク、外付けカメラなどを1台のパソコンに別々に接続して使用していました。そのため、毎回それぞれの機器を接続するのも大変でしたし、PCによって設定を変える必要があったり、それで使えなくなったりすることもありました。また、小型のスピーカーマイクですと誰かが持ち出してしまわれるにありました。

弊社はオフィスが3つあり、別のオフィスで既にMAXHUBを導入しておりました。同様のインタラクティブホワイトボードを他のオフィスにも入れたいと考えるなかで、主に価格面からi+hubを導入することに決定しました。

煩雑な機器の接続をi+hub1台で

イグアス:実際にi+hubを導入されて、どのように活用されていますか?

社内外問わず会議に使用していますが、とくに大きな不便を感じたことはないです。個別に機器の電源を入れる必要がないので、これ1台で会議が始まります。コロナ禍の影響でWeb会議に昔よりも抵抗がなくなったこともあり、大通オフィスでは使っていない人はいないと思います。自分のPCに入っている資料を大画面に共有したい場合は dongle を使用し、そうでない場合は OPS (Windows モジュール) 側で会議に参加するというように使い分けています。dongle での画面投影は非常に簡単ですね。他のオフィスにて MAXHUB も使用したことがありますが、ほとんど同じような感覚で会議できています。一度導入するともう、プロジェクタの時代には戻れないですね。



イグアス:本日は貴重なお話をありがとうございました。

北海道地区でi+hubをご検討のお客様はぜひアドウィックさまへご相談ください。



株式会社イグアス

ビジネス開発本部
戦略システム開発部

✉ ihub@i-guazu.co.jp

🌐 <https://www.i-guazu.co.jp/lp/ihub>